

教科	社会(歴史的分野)	学年	第1～3学年
----	-----------	----	--------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史学習の初めに	1	○歴史的分野の学習を始めるに当たって、歴史を学習する意義について考える。 ○地理的分野や公民的分野との関係について理解し、教科書の目次などを基に、これから学習する歴史的分野の学習の概要を把握する。	○歴史的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や公民的分野との関係について理解している。	○歴史を学習する意義について考え、自分の意見を適切に表現している。	○歴史を学習する意味について考え、歴史学習を通して過去から受け継がれた経験などを学ぶだけでなく、これからの社会に生かそうとしている。
歴史の流れをとらえ方・調べ方	6	○歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気付かせる。 ○小学校の学習との関連を図りながら、中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味、関心、意欲を高めさせる。 ○時代や年代の読み取り方を理解させ、歴史を学習する際の基礎を身につけさせる。	○時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。 ○日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関するさまざまな資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。	○歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○身近な歴史や歴史上の人物、出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対する関心を高め、意欲的に学習している。
原始・古代の日本と世界	19	○日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連付けて理解させる。 ○大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した古代までの日本の流れを大きく捉えさせる。 ○古代の日本において、国際的な要素を持った文化からやがて文化の国風化が進んでいくことを、代表的な事例を取り上げて理解させるとともに、日本の文化財に関心を持たせる。	○日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ○古代における文化の特色を、東アジアと関わらせて理解し、その知識を身につけている。 ○古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	○古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○古代までの日本の大きな流れについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。 ○現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。
中世の日本と世界	14	○武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。 ○モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関わりが見られたことや、それが国内の政治に影響をおよぼしたことを理解させる。 ○畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたというこの時代の大きな変化の原因を、農業をはじめとする諸産業の発達などの視点から考えさせる。 ○武士や民衆の活力を背景にして生み出された新しい文化の特色を、代表的な事例を取り上げて捉えさせ、その中で現在に結びつくものに関心を持たせる。	○武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界との関わりを背景に理解し、その知識を身につけている。 ○中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものが見られることに気付き、その知識を身につけている。 ○中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との関わり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との関わりに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ○日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名 : 江戸川区立篠崎第二中学校

近世の日本と世界	21	○織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解させる。 ○ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解させる。 ○安定した社会が次第に変化し、行き詰まっていく原因について、社会の仕組みや経済の変化などから考えさせる。 ○産業や交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などから把握させ、文化的遺産を尊重する態度を育てる。	○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、日本の歴史と関わる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ○産業・交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、身近な地域の歴史的事象との関連で理解し、その知識を身につけている。 ○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 ○近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して年表などにまとめている。	○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見いだし、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ○産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。 ○武将や豪商の文化、町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め、今日に残る文化的遺産を尊重している。 ○政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め、その生涯や業績を調べている。
日本の近代化と国際社会	25	○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ○明治新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ○立憲制国家が成立して議会政治が始まり、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ○日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。	○開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ○日本の国際的地位が向上したことや近代産業が発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身につけている。 ○近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関するさまざまな資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。	○近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。	○近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国との関わりに留意しながら、意欲的に追究している。
二度の世界大戦と日本	19	○第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や大正時代の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解させる。 ○昭和初期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、経済の混乱、軍部の台頭、戦争の経緯と大戦の惨禍を理解させる。 ○戦時下の国民生活をなるべく身近に感じさせるとともに、戦争の惨禍にも目を向けさせ、関心や態度を養う。	○二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。 ○二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。 ○表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ○写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。	○各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。 ○日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	○二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身につけている。 ○戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
現代の日本と世界	14	○第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。 ○高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。 ○国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待をいだけせ、社会の一員としての自覚を深めさせる。	○終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解し、その知識を身につけている。 ○終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。 ○表やグラフなど数量的資料を積極的に活用している。 ○多くの写真や実物資料を用いて、当時の生活を実感している。	○戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期を捉え、自分の意見を述べようとしている。	○祖父母、親の体験などを積極的に聞き、個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付けている。 ○地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持とうとしている。